



私たちの住む地域社会を、みんなの力で住みよくして行こうという願いを実現することが、コミュニティ活動です。港南コミュニティセンターに次ぎ、さる6月下旬から工事が進められていた《留萌市港北コミュニティセンター》が完成、10月16日に竣工式が行われました。

同センターは、元町五丁目旧港北会館跡地に建設。同会館は、建設してから年数も経過しており老朽化が著しく地域の方々から改築が望まれていました。

建物は鉄骨一部二階建、総面積は四百九十八平方メートル（一階三百二十八平方メートル、二階百七十一平方メートル）で、総工費七千二百二十万円。

一階には、各種の冠婚葬祭や子供会、婦人会などに利用できる集会室、掲示板、ステージなども設けられています。二階には、料理教室などに

### 話題をひろって

過ぎ去ってみると1年は早いもの。今年もあと残すところ1カ月あまりです。元旦に今年こそはたてた約束事、は達成できたか。あなたにとってこの1年間はどうか。マチのあちこちにもいろいろな出来事がありました。

### 市政の一年

- ▽1月 ・日ソ漁業交渉打開へ向け「北洋漁業危機突破大会」を開催。・市内で観測史上初の34・8度を記録。
- ▽2月 ・東光小で「一日入学」。・道アンサンブルコンサートで留萌中が金賞。・道運輸局などが代替輸送路を調査。・市農業振興計画を作成。
- ▽3月 ・市議会議長に古野氏を選任。・住みよい地域づくり婦人部研修会を開催。・旭川国際バレー大会で札幌中が優勝。
- ▽4月 ・留萌J.Cが札幌で「留萌を語ろうイン札幌」を開催。・中国遼寧省友好訪日団が来留。・市立病院で夜間

## 港北コミュニティセンターが完成

# コミセン拠点に地域連帯の輪

### コミュニティとは

コミュニティとは、「市民としての自主性と責任を自覚し、新しい地域的な連帯感のある近代的な地域社会」と表現されています。

### 新しい豊かな生活をめざす

最近、私たちの生活水準は物質的には大きく向上しました。しかしその反面、都市化の波によって生活意識や生活

様式が変化し、行動も拡大してきました。

そこでいま一度、地域社会の見直しをしようという社会的な傾向が高まり、コミュニティという言葉がいろいろな機会に使用されるようになってきました。

コミュニティ活動の目標のひとつは、新しい豊かな生活をめざすということです。

私たちの身の周りには――  
・地域の交通安全や騒音、大気汚染などの公害問題。  
・鍵っ子や青少年非行問題。  
・お年寄りの生きがい問題。  
・道路、下水道、公園などの地区環境施設の整備の問題。

など、いろいろな問題が横たわっています。  
このような問題は、地域の住民が協力して、みんなで力を合わせなければ解決できないものを含んでいます。

その解決の場として、コミュニティは極めて重要な役割を果たしています。  
もうひとつは、人間の回復を目指すということです。

私たちの生活の場は、家庭、近隣社会とのつながり、職場の三つに大別されるといえます。



▲原田市長と関係者がテープカット

### 明るい地域社会 交流と助け合いから

急速な都市化によって、生活環境が変化し家庭生活は核家族化が進み、地域社会の人々との結びつきは稀薄になり、職場社会の人間関係も、心の安らぎや充実を十分満たして

いるのではないのでしょうか。より豊かで潤いのある生活、人間性の回復の実現は、地域において住民が余暇を利用して集い、共通の趣味なりスポーツ・レクリエーションなどに参加する、というなかにも見い出されるものではないでしょうか。

コミュニティは、その役割も持つています。

隣人との触れ合いを深め、地域住民相互の信頼感にもとづいた結びつきができたなら私たちの毎日はより充実したものになるでしょう。

- ▽5月 ・市内で日食を観測。・元市議会副議長三國氏が逝く。・国際親善交流委員会が発足。・60年度国勢調査実施本部を設置。
- ▽6月 ・塩見海水浴場で2回目の不発弾水中捜索。・歯の図画ポスター展を開催。・市内3国道に平和都市宣言塔を設置。
- ▽7月 ・子供サミットイン留萌を開催。・西海岸線通りの整備に着手。
- ▽8月 ・心障スポーツ大会開催1000人が参加。・海洋構造物に波力計を設置。・6年ぶりの「熱帯夜」。
- ▽9月 ・全道母親ゴルフラウンド開催。・留萌ダム周辺地域協議会が発足。・道議会石炭対策特別委が市内で石炭情勢を視察。
- ▽10月 ・国勢調査を実施。・「留萌文化史」を発刊。・沖見住宅地区改良事業今年2棟が完成。・留萌新聞が12年連続道総合賞を受賞。・若松選手が2000本安打を達成。
- ▽11月 ・留萌警察署がミニ図書館を開設。・留萌港の貿易実績が150億円を突破。・市民憲章の森で植樹。

